



一帯に咲くミズバショウを楽しむ来場者

可憐に咲く「市花」ミズバショウ 行楽客で賑わったミズバショウ祭

4月29日のみどりの日、恒例のミズバショウ祭が大屋町加保坂のミズバショウ公園周辺で開催されました。

同祭は地元の加保坂開発組合、加保区が主催となり運営にあたっており、今年もうどんや焼き鳥などのバザーの他に、もちまきなどの楽しい催しが企画されました。

今年のミズバショウは例年より開花が早かったため、花の咲き具合も少しピークを過ぎた感じでしたが、好天にも恵まれ多くの行楽客でにぎわいました。

また、ミズバショウは養父市を象徴する「市花」に選定されました。来場者は、その可憐で美しい花を鑑賞し、心を和ませているようでした。

伝統芸能で交流深める

農村歌舞伎葛畑座が「ふるさと歌舞伎まつり」に出演

葛畑地区で活動をされている農村歌舞伎葛畑座（西村武座長）が5月1日、加東郡滝野町の県立播磨中央公園で行われた「北播磨交流の祭典・ふるさと歌舞伎まつり」に出演しました。

この公演には、葛畑座も含め兵庫県内の5団体が出演し交流を図りました。葛畑座は、昨年の農村歌舞伎葛畑座秋まつり公演で上演した演目「新版唄祭文野崎村久住処の場」を熱演。雨の中、会場を訪れた多くの観客から大きな拍手が送られました。

今後の公演予定は、秋に「子ども歌舞伎」が葛畑の舞台などで公演されることになっています。



▶熱演で会場を沸かした葛畑座



新緑の木々の中、登山を楽しむ参加者
(但馬中央山脈縦走大会)

新緑映える大自然を満喫 氷ノ山、鉢伏山、妙見山で登山大会

好天に恵まれた5月3日、第16回但馬中央山脈縦走大会が行われました。昨年の台風被害の影響で日程とコースが大幅に変更されましたが、日光院から妙見山頂を目指す健脚コースに87人、日光

院から名草神社・妙見三重の塔に向かう自然観察コースに42人の方が参加。5歳児から81歳の方まで幅広い年齢層のみなさんが、それぞれのペースで大自然を満喫しました。

同14日には、氷ノ山と鉢伏山一帯の夏山開きが行われ、観光関係者らが夏山の安全と繁栄を祈願しました。

翌15日には、第7回氷ノ山・鉢伏山新緑登山大会が健脚向きの氷ノ山コース、初心者向きの鉢伏山コースと東鉢伏高原コースの3コースに分かれて行われ、総勢364人が参加。午後からはにわか雨が降りましたが、新緑の映える兵庫の屋根・氷ノ山と鉢伏山を楽しみながら登りました。



氷ノ山山頂からの景色を楽しむ参加者